

---

# 大学教育学会ニュースレター

No.104 2017.2.6

---

一般社団法人大学教育学会 (Japan Association for College and University Education)

事務局：〒252-0231 神奈川県相模原市中央区相模原 2-8-20-204

TEL/FAX：(042) 707-8112

郵便振替口座：00210-9-102857 一般社団法人大学教育学会

E-mail: jacue.office@gmail.com URL: <http://www.daigakukyoiku-gakkai.org/>

---

## 大学教育学会 第39回大会(2017年)案内

統一テーマ

### 教養教育の再考

#### 趣 旨

1991年の大学設置基準の大綱化から早くも四半世紀が経過した。大綱化以前のカリキュラムでは人文・社会・自然科学の3分野の均等履修が義務づけられていたが、大綱化後は各大学独自の創意工夫によって特色あるカリキュラムを編成することが可能になった。新入生に対する少人数ゼミ、補習教育、情報教育なども加わり、カリキュラムは多様化した。ただし、人文・社会・自然科学の3分野からなる均等履修も基本的には踏襲されており、それ以外に各分野の内容を主題別科目として再編成している大学も多々みられる。最近では、アクティブラーニングを取り入れた授業方法の改善も進んでいる。しかし、その一方で、学士課程教育の中で教養教育をどのように位置づけ、充実させていくのかは今日もなお課題のままであるといつてよい。

戦後、一般教育の導入をリードした南原繁東京大学総長は、教養を「一個の紳士として社会人として何か身につかねばならぬ装飾品の知識」ではなく、「われわれの時代が到達したいわば生ける知識の体系について知り、それによってわれわれの世代が共有する文化と文明の全体の構想と意味-世界と人間と社会についての理念を把握することである」と、新制大学としての東京大学の入学式における式辞で述べている。生ける知識の体系を通して文化と文明の理念を世代間で共有するという教養観は、大綱化によって葬り去られたかと思える。しかしながら、それに代わる教養教育の理念を大学は打ち立てられたのであろうか。そこで、本大会では「教養教育の再考」を統一テーマに掲げ、教育内容や教育方法を含めた教養教育のあり方について改めて議論する場にしたいと考える。

#### 1. 開催期日および会場

期 日 2017(平成29)年6月10日[土]、6月11日[日]

会 場 広島大学総合科学部(広島県東広島市鏡山一丁目7番1号:JR西条駅下車)

総合科学部講義棟(K棟) : 大会受付、オリエンテーション、ラウンドテーブル、自由研究発表

サタケメモリアルホール : 事業報告会、基調講演、公開シンポジウム

大学生協西第2福利会館 : 情報交換会

学士会館 : 理事会、定時代議員総会

## 2. 大会日程

### 第 1 日：6月10日 [土]

8:45	10:00	12:00	13:00	13:40	14:00	15:20	15:30	17:50	18:10	19:40
受付	ラウンド テーブル	昼食	事業 報告会	基調講演		公開 シンポジウム		情報 交換会		

↑ 9:15-9:50 初めて参加する人のためのオリエンテーション

↑ 13:50-14:00 開催校挨拶

8:45	受付開始
9:15 - 9:50	初めて参加する人のためのオリエンテーション
10:00 - 12:00	ラウンドテーブル
12:00 - 13:00	昼食
13:00 - 13:40	事業報告会
13:40 - 13:50	休憩
13:50 - 14:00	開催校挨拶
14:00 - 15:20	基調講演 池内 了氏 (名古屋大学名誉教授) 講演題目「大学と社会－教養教育に期待すること－」
15:20 - 15:30	休憩
15:30 - 17:50	公開シンポジウム 「危機に立つ教養教育－大綱化後四半世紀の課題と将来－」
18:10 - 19:40	情報交換会

\* 情報交換会終了後に、有志による若手研究者交流会を予定しております。場所等詳細については、次号のニュースレター (No.105) にてお知らせいたします。

### 第 2 日：6月11日 [日]

9:00	9:30	12:00	13:00	15:00	15:15	16:45
受付	自由研究発表 I	昼食	自由研究発表 II		ポストワークショップ	

9:00	受付開始
9:30 - 12:00	自由研究発表 I
12:00 - 13:00	昼食
13:00 - 15:00	自由研究発表 II
15:00 - 15:15	休憩
15:15 - 16:45	ポストワークショップ

\* 本学会活動の大学教育改革への貢献の可視化と会員の能力開発を促すため、ポストワークショップ (定員制、有料) を実施いたします。今大会では「アクティブラーニング改革の現在を一から確認・理解する (溝上慎一会員、京都大学)」と「思考を育むアカデミックライティングーアクティブラーニングによる授業展開 (井下千以子会員、桜美林大学)」の 2 種類を予定しております (同時刻開催)。申し込み方法等の詳細は次号のニュースレター (No.105) にてお知らせいたします。

### 関連行事：6月9日 [金]

13:00 - 18:00 理事会、定時代議員総会

### 3. 基調講演

講師：池内 了 氏（名古屋大学名誉教授）

演題：大学と社会—教養教育に期待すること—

司会：宮谷 真人 氏（広島大学 本大会実行委員長）

池内 了氏は、科学とは何か、科学と社会との関係はどうあるべきか、市民は科学にどのように対応していけばよいのか、科学者の責任とは、などを問う数多くの著書を上梓されている宇宙物理科学者である。これらの著書に現れているような科学を文化の面から広く捉える考え方は、数多くの課題を抱える現代社会にとって貴重なものである。このような立場から、池内氏には教育研究機関である大学のあり方、大学における教養教育のあり方について示唆に富む提言を行っていただく予定である。

【著書】『科学者と戦争』（2016）、『大学と科学の岐路—大学の変容、原発事故、軍学共同をめぐる』（2015）、『科学は、どこまで進歩しているか』（2015）、『科学のこれまで、科学のこれから』（2014）、『科学・技術と現代社会』（2014）、『現代科学の歩きかた』（2013）、ほか多数。

### 4. シンポジウム「危機に立つ教養教育—大綱化後四半世紀の課題と将来—」

今日、グローバル化が進行する中、大学の教養教育はドメスティックな視点での人材育成に止まらないグローバル市民を創出する役割を果たすことが求められている。また、現代社会は、医療・教育・金融など社会生活のあらゆる分野においてデータが活用されており、データを理解・活用する数理科学的能力は社会生活をおくる上で不可欠となっている。さらに、近年、世界各地で民族主義的な考えを基調とする排他的な雰囲気が醸し出され、先行きが見えにくくなる中、人類が蓄積してきた知の意味や人類が直面している課題の所在を学び、解決に向けて行動するために必要な思考力や視点を育成することが必要となっている。今後、日本の大学はどのような教養教育を行っていけばよいのだろうか。

本シンポジウムでは、大綱化後四半世紀が経過する中、教養教育として今どのような内容の教育を行えば良いのかを三名のシンポジストからご報告いただく。まず、ヨーロッパの統合と市民性教育について優れた研究を先導してこられた近藤孝弘氏に、ヨーロッパの市民性教育とそれを踏まえた日本の高等教育への提言をお願いする。続いて、本学会の課題研究「学士課程教育における共通教育の質保証」（2013 - 2015）で数理科学分野における質保証の検討に取り組んでこられた高橋哲也氏に、教養教育としての数理科学教育の必要性と課題についてご報告をお願いする。さらに、大学の基本理念に「平和を希求する精神」を掲げる広島大学において教養教育必修科目「平和科目」を担当されている布川弘氏に、平和教育の観点から大学の教養教育のあり方についてご報告をいただく。指定討論者の羽田貴史氏には、論点の整理と各論者へのコメントをいただく。

司会：於保 幸正 氏（広島大学名誉教授）

指定討論：羽田 貴史 氏（東北大学）

シンポジスト：市民性教育の観点から：近藤 孝弘 氏（早稲田大学）

：数理科学教育の観点から：高橋 哲也 氏（大阪府立大学）

：平和教育の観点から：布川 弘 氏（広島大学）

### 5. 「ラウンドテーブル」申し込みについて

本学会は、多様な専門分野の方々が集まって大学教育に焦点をあててその充実を図ることを大きな目標の一つに掲げています。その一環として行う「ラウンドテーブル」は、会員による研究・実践活動の活性化を促すとともに、学会全体で共有できる研究課題を発掘し、複数の視点から議論を深めていくことを目的としています。

#### 発表資格

(1) 企画者、報告者（話題提供者・発題者）、司会者となる資格を有するのは本学会個人会員に限ります。

ただし、企画者は複数の所属機関にわたる複数名で構成してください。企画者が報告者や司会者を兼

ねることは可能です。

- (2) 同じ会員が複数の企画に、企画者、報告者、司会者として参加することはできません。
- (3) 1 テーブルの構成員（企画者・報告者・司会者）の数は最大 10 名までとなります。
- (4) 課題研究委員会が企画するラウンドテーブルについては、本学会個人会員でなくても報告者（話題提供者・発題者）になることができます。

### 申し込みおよび報告

申し込みの要領・手順については、ニュースレター後掲「自由研究およびラウンドテーブルの発表申し込みについて」をご参照下さい。

ラウンドテーブルの企画者は、大会終了後、編集委員会が指定する学会誌の『ラウンドテーブル報告』に投稿することができます（『大学教育学会誌編集規程』『大学教育学会誌執筆要領』をご確認ください。）

### ラウンドテーブルの調整及び評価

ラウンドテーブル全体の調整及び評価は企画・実行委員会が行います。

第一に、企画・実行委員会において、企画者、発表者、司会者として会員資格を満たしているかを確認いたします。第二に、企画・実行委員会が、以下の項目を中心にテーマの適切性や重複状況を総合的に評価いたします。また、会場の都合を踏まえ、ラウンドテーブルの数を制限することがあります。

- ・ 1 テーブルの構成員（企画者・報告者・司会者）の人数（最大10名まで）
- ・ 発表者の所属機関の多様性
- ・ 見込まれる参加者数
- ・ 成果の発表状況（論文、シンポジウムでの報告、出版等）

以上の評価結果は、申し込み年度の3月中旬を目途に企画者に通知いたします。

## 6. 「自由研究発表」について

### 発表資格

- (1) 発表申し込み及び登壇する資格を有するのは本学会個人会員（学生会員を含む）および団体会員である団体に所属する個人に限ります。ただし、共同研究者として非会員をプログラム、要旨集、当日の投影資料、配付資料に記載することができます。
- (2) 個人会員（学生会員含む）は、1 名 1 題に限り登壇者となることができます。ただし共同研究者として他の発表に名を連ねることはこの限りではありません。
- (3) 団体会員は、当該団体に所属する任意の個人 1 名 1 題に限り、登壇者となることができます。
- (4) 非会員を共同研究者とした際は、プログラム、要旨集、当日の投影資料、配付資料に、必ず「非会員」であることを明記してください。
- (5) 「個人会員（学生会員を含む）」とは、①指定期日以前に、締切日を含む年度までの会費を全納した者、あるいは、②発表申し込み締切日までに、入会手続きを取り、当該締切日を含む年度の会費を前納した者を指します（後述の「申し込みに関する留意事項」を参照）。
- (6) 企画委員会は発表資格を満たしているか判断し、申し込み年度の 3 月末までに発表申込者に通知します。

### 発表内容

- (1) 大学教育に関する未発表の研究で、単なる実践報告ではなく、一定程度の成果の評価や結論が示されていることが求められます。
- (2) 大学教育学会誌における関連先行研究のレビューをふまえたものであることが求められます。
- (3) 共同研究の成果発表において、2つ以上の発表時間枠の利用を希望する場合は、発表題目の副題に内容を必ず明示すること。主題および副題に連番を付すことは認めません。
- (4) 発表題目は、研究の内容と目的を明示するものであり、申し込み・要旨集録・当日発表のいずれも同じでなければなりません。

## 発表時間・会場

- (1) 発表 15 分と質疑応答 5 分の計 20 分です。
- (2) 共同研究の成果発表であっても発表時間は(1)と同一とし、延長等の措置は取りません。ただし、「発表内容(3)」のとおり、適切な形で内容を分割し、別の発表とすることは妨げません。
- (3) 申し込みの発表題目と発表内容の概要を参考に、実行委員会が会場分けを行います。
- (4) 会場ごとに全発表の終了後に「総合討論」の時間を設けます。発表者は必ずご参加下さい。

## 申し込みに関する留意事項

- (1) 団体会員の資格で発表する場合は、団体名での発表になります。電子申請の際の発表申し込みの画面で必ず機関名をご記入下さい。
- (2) 発表申し込み後に正当な理由なく途中辞退を行った場合、今後発表を認めないことがあります。

## 7. 大会企画・実行委員会

企画委員長	羽田 貴史 (東北大学)	実行委員長	宮谷 真人 (広島大学)
企画委員	池田 輝政 (追手門学院大学)	事務局長	林 光緒 (広島大学)
	小山 悦司 (倉敷芸術科学大学)	事務局次長	吉田 香奈 (広島大学)
	於保 幸正 (広島大学名誉教授)	実行委員	吉田 光演 (広島大学)
	吉田 香奈 (広島大学)		岩永 誠 (広島大学)
幹事	小山 悦司 (倉敷芸術科学大学)		乾 雅祝 (広島大学)
			戸田 昭彦 (広島大学)
			青木 利夫 (広島大学)
			平手 友彦 (広島大学)
			小宮山 道夫 (広島大学)
			志津木 敬 (広島大学)
			佐藤 万知 (広島大学)

## 自由研究およびラウンドテーブルの発表申し込みについて

### 発表申し込み要領

申し込み締め切り：2017年2月28日（火）23:59

学会ウェブサイトの「会員ページ」からお申し込みください（下記の申し込み手順を参照）。

### 発表申し込み手順

大学教育学会ウェブサイト (<http://www.daigakukyoiku-gakkai.org/>) にアクセスし、指示に従ってください。会員ページ入口でIDとパスワードの入力が求められます。ID、パスワードをお忘れになった方は、学会事務局 (jacue.office@gmail.com) または学会業務取扱センターにお問い合わせ下さい。

申し込み時には、発表の種別として「自由研究」か「ラウンドテーブル」を選択していただきます。

「自由研究」「ラウンドテーブル」ともに、以下の情報を入力していただきます。

- ① 発表題目（申し込んだ発表題目を変更することはできません）
- ② 発表内容の概要（日本語で300字程度、または英字（半角）120語程度）
- ③ 発表内容のカテゴリー（選択式、「自由研究」の場合のみ）

「自由研究」「ラウンドテーブル」ともに発表の可否が決定されると、「可否通知メール」が申込者宛に送信されます。発表を許可された場合は、会員ページの「お知らせ」欄に表示される要旨集録原稿の提出案内に従い、要旨集録原稿を4月9日（日）23:59までにアップロードして下さい。ラウンドテーブルの企画者は、発表者の氏名、氏名フリガナ、所属についても要旨集録原稿に掲載して下さい

### 【重要】発表申し込みに関する留意事項

- (1) 発表申し込みの際には、学会ウェブサイト上にある「大学教育学会大会実施要綱」を必ず確認してください。
- (2) 現会員が発表申し込みをする場合は、2016年度分までの会費を2017年2月22日（水）までに完納する必要があります。
- (3) 新たに本学会に入会し、第39回大会にて自由研究発表及びラウンドテーブルでの企画・発表を希望する方は、必ず2017年2月13日（月）正午までに入会申込を済ませ、理事会承認後、2016年度分会費を2017年2月22日（水）までに納入してください。会費納入が確認された後に会員番号（ID）とパスワードを発行します。
- (4) 指定期日までに会費を納入されない場合には、申し込みを受理いたしません。
- (5) 会費納入は、郵便払込票にて「00210-9-102857 一般社団法人大学教育学会」までお願いします。
- (6) 会費納入状況の問い合わせ先（会員ID及びPWの問い合わせも可）

大学教育学会 学会業務取扱センター

TEL：03-5981-9824 / FAX：03-5981-9852

E-mail：g022lges-mng@ml.gakkai.ne.jp

### 【重要】会員番号記載について

発表・企画資格の会費納入状況に基づく確認のため、申し込み時に会員番号の記載を義務付けております。学会名簿をご参照のうえ、ご記載願います。なお会員番号が不明な場合は、学会事務局 Tel:(042)707-8112/E-mail:jacue.office@gmail.com までお問い合わせ下さい（開室時間：月・水・金曜日 9:00～17:00）。

また、開室時間外については、大学教育学会学会業務取扱センターTel:(03)5981-9824/E-mail：g022lges-mng@ml.gakkai.ne.jpにてお問い合わせを承っております。

### 【重要】参加申し込み等について

第39回大会の参加ならびに情報交換会の申し込み、宿泊予約や託児室利用等の詳細につきましては、次号のニューズレター（No.105）にてお知らせいたします。

## 大会案内サイトについて

本学会ウェブサイトの「最新情報欄」に「大学教育学会第39回大会のご案内」を掲載いたしました。ここから「大学教育学会第39回大会（広島大学）」のページにアクセスできます。

**大学教育学会 URL** <http://www.daigakukyoiku-gakkai.org/>

発表申し込みに関してのお問合せ先は、下記のとおりです。

#### 第39回大会（広島大学）に関するお問い合わせ

〒739-8521 広島県東広島市鏡山一丁目7番1号 広島大学 教育本部内

大学教育学会 第39回大会実行委員会

E-mail: jacue39@hiroshima-u.ac.jp

※メールの件名には、「自由研究」「ラウンドテーブル」または「大会発表に関する問い合わせ」とご記入ください。

## ＝事務局から＝

### ● 第39回(2017年度)大会について

第39回大会は、2017年6月10日(土)・11日(日)に広島大学総合科学部に開催予定です。本ニュースレター(NL104号)にてラウンドテーブルや自由研究発表のお申込みについてご案内しています。詳細をよくお読みになり、本学会ウェブサイトよりお申込みをお願いします。

尚、次号のニュースレター(NL105号、4月中旬発行予定)にて参加申し込み及び参加費・情報交換会費の払込について詳細をご案内します。その際払込取扱票も同封予定です。

また、2日目の6月11日(日)開催予定のポストワークショップ参加方法の詳細についても次号のニュースレター105号でお知らせいたします。

### <発表申し込みの際の注意事項>

#### 1. 申し込み締切 2017年2月28日(火) 23:59

締め切り時間間際のお申し込みはアクセス集中により、正常にお申し込みが完了しないことがあります。お時間に余裕を持ってお申し込みくださいますようお願いいたします。また、締切を過ぎた場合のお申し込みは一切受理いたしませんのでご承知おきください。

2. 発表申し込みは、2016年度分までの会費が完納されていることが条件となります。

2月22日(水)迄【締切厳守】に会費納入の上、お申し込みください。会費が完納されていない場合は申し込みを受理いたしませんのでご承知おきください。

3. 現在非会員の方で発表をご希望の方は、必ず2月13日(月)正午迄【締切厳守】に入会申し込みを済ませ、理事会での承認を得た後に、2016年度(会期：2016年4月1日～2017年3月31日)会費を、2月22日(水)迄【締切厳守】にお納めいただく必要があります。

### ● 会費納入のお願い

今年度(2016年度)迄の会費が未納の会員は、速やかにご入金ください。

領収書につきましては、郵便払込票の受領書をもって替えさせていただきます。

年会費等郵便振替口座 00210-9-102857 「一般社団法人大学教育学会」

ご入金は郵便払込票をご利用ください。やむを得ず、銀行からご入金を希望される場合は、入金前に必ず、以下の大学教育学会 学会業務取扱センターまでその旨ご連絡下さい。

<「入退会・会員登録情報変更・会費納入状況」の問い合わせ先>

大学教育学会 学会業務取扱センター

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨1丁目24-1 第2ユニオンビル4F

TEL:03-5981-9824 FAX:03-5981-9852

E-mail:g022lges-mng@ml.gakkai.ne.jp

過年度会費の滞納がある場合は、学会誌の発送を見送る措置をとらせていただいております。納入状況は、学会ウェブサイトの会員ページにあります「会員情報の照会・更新」からご自身で確認可能です。

### ● 学会関連資料のご寄贈のお願い【アーカイブズ委員会】

特に探究している資料は、以下の通りです。学会事務局まで「着払い」でお送りください。

大会発表要旨集録等(1979,1981,1989,1990,1993,1998,2000,2001,2002,2003,2004年)

課題研究集会要旨集(1981,1982,1985,1986,1987,1988,1989,1992,1993,1998,2001,2003,2004,2005,2008年)

その他、一般教育学会時代の資料についてもご寄贈をお待ちしています。

## ● 2017年度課題研究集会について

2017年度課題研究集会は、2017年12月2日(土)・3日(日)に関西国際大学尼崎キャンパスにて開催されます。

## ● 住所変更等会員情報更新のお願い

ご住所、ご所属や役職等に変更がある方は、速やかに、学会ウェブサイトの「会員ページ」にあります「会員情報の照会・更新」からご自身でご変更のほどお願い申し上げます。ID(会員番号)・PWを紛失された方は、下記の大学教育学会 学会業務取扱センターまでお問い合わせください。

定期刊行物は、宅配業者DM便を利用しているため、転居にともなう転送はされず数週間後、事務局へ返送されてまいります。何卒ご協力をお願いいたします。

## ● メールマガジンの受信設定のお願い

現在、会員の皆様に年2～3回、大学教育学会メール通信(メールマガジン)を配信しております。

しかし、受信拒否や宛先不明を理由に返送されてくるメールが多数あります。ご登録のアドレスにおいて学会アドレスjacue.office@gmail.comより送信されましたメールを受信できるよう設定をお願い致します。



---

### 【学会事務局】

〒252-0231 神奈川県相模原市中央区相模原2-8-20-204

Tel/ Fax: 042-707-8112

E-mail: jacue.office@gmail.com

URL: <http://www.daigakukyoiku-gakkai.org/>

### 【入退会・会員登録情報変更・会費納入状況についてのお問い合わせ先】

大学教育学会 学会業務取扱センター

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨1丁目24-1 第2ユニオンビル4F

TEL: 03-5981-9824 FAX: 03-5981-9852

E-mail: g022lges-mng@ml.gakkai.ne.jp